

# 資料 3

## 第 1 回 安房地区地域協議会

### 「県立高校改革推進プラン」及び 「第 1 次実施プログラム」について

令和 5 年 1 月 6 日 (金) 14:00～  
館山市中央地区学習供用施設「菜の花ホール」



みんなで取り組む  
千葉の教育

千葉県教育庁企画管理部  
教育政策課高校改革推進室

## I これまでの高校再編について

### 1 再編の経緯

「県立高等学校再編計画」  
(平成 14 年 1 月 1 日策定)

目標年次 平成 14 年度～23 年度



「県立学校改革推進プラン」  
(平成 24 年 3 月策定)

目標年次 平成 24 年度～令和 3 年度



学科設置や統合等の再編中心 コースなどの魅力づくりが中心

## 2 計画の性格

- ・ 具体計画は、**実施プログラム**により実施
- ・ 必要に応じた見直しを考慮

「県立高等学校再編計画」



「県立学校改革推進プラン」



第 1 期実施プログラム：H14.11 策定  
第 2 期実施プログラム：H16. 5 策定  
第 3 期実施プログラム：H18.12 策定

第 1 次実施プログラム：H24.3 策定  
第 2 次実施プログラム：H26.3 策定  
第 3 次実施プログラム：H28.3 策定  
第 4 次実施プログラム：H30.3 策定

一部改訂  
H30.3 策定

## 3 「県立学校改革推進プラン」

### 実施プログラムの主な内容

- 魅力ある高等学校づくり
  - ・ 社会のニーズに対応したコースの設置  
**教員基礎コース**(4 校) **保育基礎コース**(2 校)  
**医療・福祉系コース**(8 校) **工業系コース**(2 校) 等
  - ・ **理数科**の設置(2 校)
  - ・ **連携組織(コンソーシアム)**の設置(工業、農業)
  - ・ **総合学科**の設置(全日 2 校、定時 1 校)
  - ・ **中高一貫教育校**の設置(1 校)
  - ・ **地域連携アクティブスクール**の設置(4 校)
- 適正規模・適正配置
  - ・ **全日制 3 組統合**(125 校 → 121 校)
  - ・ **三部制定時制高校**の設置(1 校)



## II 「県立高校改革推進プラン」について



令和 3 年 6 月～令和 4 年 1 月  
**次期プラン策定懇談会**開催  
令和 3 年 9 月～10 月  
**地域協議会**を 5 か所で開催  
令和 3 年 12 月～1 月  
パブリックコメント実施

令和 4 年 3 月  
県立高校改革推進プラン策定

今後 10 年間の県立高校改革に関する基本的な考え方を示す

## 1 県立高等学校の現状と課題

### (1) 生徒のニーズの多様化

- 高校進学率 **98.9%**
- 経済的、社会的に **様々な困難を抱えた生徒**の増加
- **日本語指導が必要な生徒**の増加

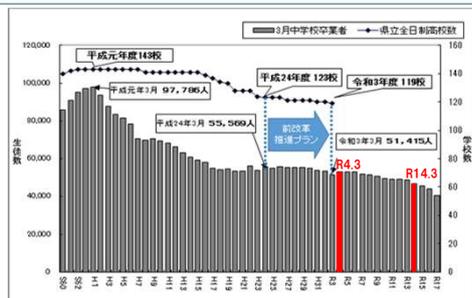
### (2) キャリア教育・職業教育の充実

- 高校卒業後の進路内訳
  - ・ 進学…約 **74%** (大学、専門学校等)
  - ・ 就職…約 **17%** (およそ 5,500 人)
- **農業、工業、水産、介護、保育分野等でさらなる担い手の育成が必要**



### (3) 人口の減少

○中卒者数が10年後には現在より**約6,200人減少**



《本県の中学校卒業生数及び県立全日制高校数の推移》

## 2 4つの計画実施上の重点事項

- (1) 全ての高校の魅力化と学びの改革
  - ・**スクールポリシー**を基点に推進
- (2) キャリア教育と職業教育の充実
  - ・**高校が小・中学校のキャリア教育を支援**  
→ 職業系専門学科への理解を深める
  - ・**時代や社会が求める人材**の育成
- (3) 学校間連携
  - ・学校、学科の垣根を越えた連携を推進
- (4) 戦略的な広報
  - ・**小・中学校等との連携**を視野に展開

## 3 4つの基本的コンセプト (目指すべき県立高等学校像)

- (1) 予測困難な時代の中で、生徒が主役となり、**未来を切り拓く力を育む学校**
- (2) 各校の特色化を進め、生徒・教職員が生き生きと活動して、**「自信」を育む学校**
- (3) 一人一人の可能性を広げ、地域から世界まで**様々な舞台で活躍できる生徒を育てる学校**
- (4) 身近な課題を探究するなど、地域との絆を深め、**地域とともに発展する学校**

## 4 8つの改革の方向性

- (1) 学習意欲を喚起し、**可能性や能力を最大限に伸長する学び**への転換
- (2) Society5.0※に対応した**新時代に求められる探究的な学び**の推進
  - ※ 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会
- (3) 普通科を含めた全生徒の**キャリア教育と職業教育**の充実
- (4) 共生社会の実現や**多様な学習ニーズに対応した教育**の推進

## 4 8つの改革の方向性

- (5) スクール・ポリシー※に基づく**各校の魅力化・特色化と効果的な学校運営**の推進
  - ※ 各学校における教育活動の指針となる3つの方針
    - ・育成をめざす資質・能力に関する方針
    - ・教育課程に関する方針
    - ・入学者の受け入れに関する方針
- (6) 生徒が生き生きと学ぶことができる**教育環境の整備**
- (7) **地域や企業、教育機関等と連携・協働**し、身近な課題解決を考える学びなどの充実
- (8) **地域の特性に配慮**し、地域の振興に寄与する**高校の在り方や適正配置**の検討

## 5 魅力ある県立高校づくりの推進

### 【キャリア教育の推進】

- **求められる人材の育成に向けたコース**の拡充・設置
  - 医師・教員・保育士・介護従事者等
- **理数教育拠点校**の設置
- 時代のニーズを踏まえた新たなコースや学び  
→ **農業経営者の育成**など
- **工業系コンソーシアム**の活性化
- **起業家精神を有する人材**の育成
- **福祉人材育成のためコンソーシアム**を設置

プランの  
ポイント

**【総合学科】**

- 新たに5校程度に設置
  - ・ **STEAM教育**※の導入
  - ・ 幅広い学びのニーズに対応した魅力ある系列
    - ※ 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、アート (Art)、数学 (Mathematics) の5つの領域を対象とした教科等横断的な学習

**【社会のニーズに対応した教育】**

- **単位制高校**※を3校程度拡充
  - ・ 進学指導重点校などに**大規模な単位制高校**の設置
    - ※ 学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高校
- **地域連携アクティブスクール**を4校程度拡充
  - ・ 学び直しや実践的なキャリア教育の推進

プランのポイント

### 6 県立高校の適正規模・適正配置

**都市部**  
(第1学区～第3学区)

**郡部**  
(第4学区～第9学区)

**○適正規模**

- 都市部：1学年あたり **6～8** 学級
- 郡部：1学年あたり **4～8** 学級

**○適正配置**

今後10年で中学校卒業生数が**約6,200人**減少  
→ 活力ある教育活動の維持のため **10組程度**の統合を予定

- 都市部：**多様な学び**への変換  
**新たなタイプの学校**への再編
- 郡部：**学校・地域の状況等に配慮**して検討

プランのポイント

**【パブリックコメントの主な意見】**

**一定程度の規模は不可欠**である

郡部については、**地域との十分な話し合い**が必要  
**過疎地域の特例**について検討してほしい

### Ⅲ 『第1次実施プログラム』について

令和4年10月  
**第1次実施プログラム**を策定

- ・ 県立高校改革推進プランの**具体計画**
- ・ **12の再編項目**について**18校**が対象
- ・ **今後の統合の考え方**を示す

### 第1次実施プログラム

#### 1 既存のコース等の設置拡充概要

(1) <b>教員基礎コース</b>	国府台・成東・大多喜
(2) <b>保育基礎コース</b>	鎌ヶ谷西・土気
(3) <b>医療系コース</b>	小見川
(4) <b>グローバルスクール</b>	松戸国際
(5) <b>福祉コース</b>	船橋豊富
(6) <b>総合学科</b>	匝瑳
(7) <b>地域連携アクティブスクール</b>	行徳・市原
(8) <b>通信制協力校</b>	銚子商業

第1次  
実施プログラム  
概要

2 新たな学びの導入

- (1) **農業経営者育成に関するコース**  
茂原樟陽
- (2) **起業家育成に関するコース**  
千葉商業
- (3) **観光に関するコース**  
一宮商業
- (4) **先端ITコース(仮称)**  
袖ヶ浦

第1次  
実施プログラム  
概要

3 連携の推進

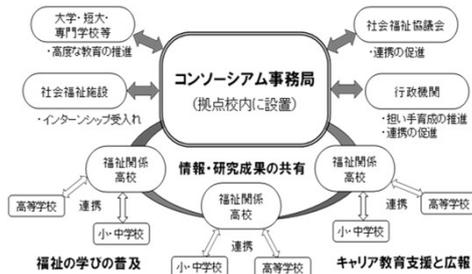
(1) **理数教育拠点校**



第1次  
実施プログラム  
概要

3 連携の推進

(2) **福祉系コンソーシアム設置** 松戸向陽



第1次  
実施プログラム  
概要

4 適正規模・適正配置

今後の**統合**の基本的な考え方

【都市部】

- **適正規模未満**の学校
- **将来適正規模の維持が困難**となることが見込まれる学校
- **同じタイプの学校が近接**

適正配置を考慮しながら規模を最適化  
特色や個性を持った、より魅力ある学校に再編

第1次  
実施プログラム  
概要

4 適正規模・適正配置

【郡部】

通学の利便性、地元からの進学状況を踏まえ

**地域連携協働校**を指定

- 学校運営協議会制度 (**コミュニティ・スクール**) を導入
- 必要に応じて**近隣の高校を協力校に指定**することも検討  
… ICTを活用した授業、学校行事や部活動の合同実施

地域連携協働校に指定された高校も含め、  
**生徒募集において著しく困難が生じる場合は、統合も検討**

IV 今後の予定

- **再編対象校**  
・各校において**校内準備組織を設置**  
→プログラム実現に向けた準備を開始  
・県民への周知、PR
  - **全県立高校**  
・プラン及びスクール・ポリシーに基づき  
**魅力ある県立高校づくり**を推進
  - **適正規模・適正配置について**  
・**県内各地域で地域協議会を順次設置**  
→地域における県立高校の在り方について意見聴取
- 「第1次実施プログラム」の推進
- 「第2次実施プログラム」以降の検討